国語

問題一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（設問の都合で本文の段落に1～11の番号を付してある。）

著作権の関係でこの部分は非公表としています

著作権の関係でこの部分は非公表としています

（筒井淳也『仕事と家族』による）

問１　空欄Ａ～Ｅに入る言葉として最も適切なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使わないこと。

ア　さて　　イ　また　　ウ　つまり　　エ　たとえば　　オ　しかし　　カ　もちろん

問２　傍線(1)「このような差別的採用」について、第一段落から第二段落の内容をまとめると次のように説明できる。空欄Ⅰ～Ⅵに入る表現を、Ⅰは二字、Ⅱは六字、Ⅲは二十字、Ⅳは二十一字、Ⅴは二字、Ⅵは十字で本文から抜き出して答えなさい。

［Ⅰ］は従来の［Ⅱ］を切り替え、［Ⅲ］するようになった。しかし、総合職の採用には［Ⅳ］が［Ⅴ］となっていたので、［Ⅵ］が採用されたこと。

問３　傍線(2)「一〇年後の二〇一〇年には、全員が離職してしまっていた」とあるが、離職した理由について、第七段落から第九段落までの内容を踏まえて五十字以内で説明しなさい。

問４　傍線(3)「奇妙なパラドックス」とはどういうことか。文中の言葉を用いて五十字以内で説明しなさい。

問５　傍線(4)「基幹労働力の働き方」とあるが、これは次のように説明することができる。空欄に入る表現を、三十字以内で本文から抜き出して答えなさい。

女性が基幹労働力から排除されてきた最大の原因である基幹労働力の働き方とは［　　］というような働き方である。

問６　傍線①～⑤のカタカナを漢字に直して楷書で書きなさい。

問題二　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係でこの部分は非公表としています

著作権の関係でこの部分は非公表としています

（外山滋比古『思考の整理学』による）

問1　傍線(1)「AからBへの移行はどうしたらできるのか」とあるが、その具体的な方法は次のように説明できる。空欄Ⅰ～Ⅵに入る表現を、Ⅰは七字、Ⅱは三字、Ⅲは四字、Ⅳは十五字、Ⅴは八字で本文から抜き出して答えなさい。

［Ⅰ］、いわゆる未知の世界を理解するためには、［Ⅱ］を働かせ、ことばを［Ⅲ］にして［Ⅳ］ことができなくてはならない。これが、［Ⅴ］具体的な方法である。

問2　傍線(2)「国語教育において、文学作品の読解が不可欠な理由がそこにある」とあるが、これは次のように説明できる。空欄Ⅰ～Ⅴに入る表現を、Ⅰは四字、Ⅱは三字、Ⅲは三字、Ⅳ二字、Ⅴは四字で本文から抜き出して答えなさい。

［Ⅰ］は［Ⅱ］から［Ⅲ］への［Ⅳ］の［Ⅴ］に役立つこと。

問3　傍線(3)「浅い意味での文学読者を育てるに終ってしまっている」とあるが、その状況は次のように説明できる。空欄Ⅰ～Ⅵに入る表現を、Ⅰは十字、Ⅱは十四字、Ⅲは八字、Ⅳは十五字、Ⅴは八字、Ⅵは九字で本文から抜き出して答えなさい。

物語、小説などは、［Ⅰ］を与えず、［Ⅱ］と［Ⅲ］を関係づければ、［Ⅳ］しまいがちである。そのため、［Ⅴ］ことが、［Ⅵ］だと気づかないのである。

問４　傍線㋐～㋓の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。ただし、読み方は現代仮名遣いで書くこと。

国語　解答用紙

解答例

一

問1

A	オ
B	カ
C	イ
D	ア
E	エ

問2

Ⅰ	企業（2字）				
Ⅱ	男女別の雇用（6字）				
Ⅲ	正社員を総合職と一般職に分けて募集・採用（20字）				
Ⅳ	職種・勤務地などの無限定性を受け入れること（21字）				
Ⅴ	要件（2字）				
Ⅵ	総合職はほとんど男性（10字）				

問3

総合職の男女が結婚した場合、子育てのために女性がキャリアを断念すること。	（50字）	

問4

女性を差別するな、という趣旨の法律が、結果的には従来どおりの性別分業社会を実現してしまったこと。	（50字）	

問5

転勤あり、残業あり、職務内容に限定性がないために負担が大きい	（50字）	

問6

① 施行	
② 介護	
③ 格差	
④ 遂行	
⑤ 普及	

二

問1

Ⅰ	了解不能の部分（7字）
Ⅱ	想像力（3字）
Ⅲ	手がかり（4字）
Ⅳ	既知の延長線上の未知を解釈する（15字）
Ⅴ	未知を既知とする（8字）

問2

Ⅰ	文学作品（4字）
Ⅱ	A読み（3字）
Ⅲ	B読み（3字）
Ⅳ	移行（2字）
Ⅴ	橋わたし（4字）

問3

Ⅰ	難解であるという感じ（10字）
Ⅱ	すでに経験して知っていること（14字）
Ⅲ	書かれている文章（8字）
Ⅳ	情緒的にわかったとして満足して（15字）
Ⅴ	作者の考えている（8字）
Ⅵ	読者の知らないもの（9字）

問4

ア	みぞ
イ	さっかく
ウ	そどく
エ	いかん
オ	ゆだ

受験番号

氏　名